

GIGAスクール構想スタートから5年



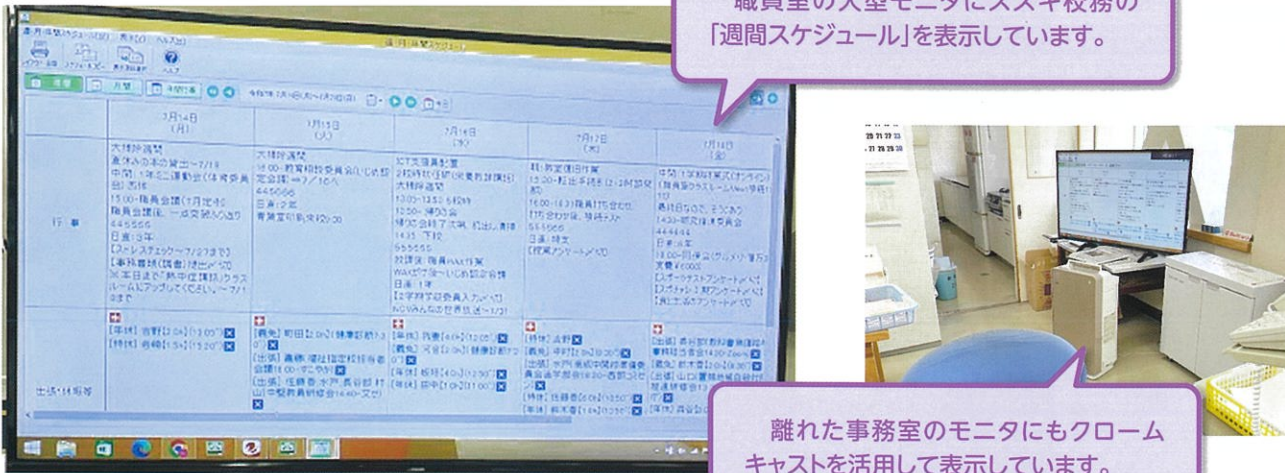
GIGAスクール構想によりタブレットや校内ネットワークが整備されて5年が経ちました。5年前「授業でタブレットを使ってみよう」から始まったGIGAスクール構想ですが、今では、授業だけでなく、様々な教育活動や校務でICTの活用が進められています。今回は、いくつかの市内小学校での活用について紹介します。

1. 職員室の予定等の表示

①Googleサイトやスライド、スプレッドシートを活用（南原小、興譲小、万世小）



②スズキ校務のスケジュールを活用（西部小）



職員室の大型モニタにスズキ校務の「週間スケジュール」を表示しています。

離れた事務室のモニタにもクロームキャストを活用して表示しています。

2. 来客への案内表示

①サイネージアプリを活用した来客案内表示（塩井小）



指定した時刻に自動でウェルカムボードの画面が変わるので、来客が多い日にはとても助かります。お客様にも喜ばれます。

来客案内の表示をサイネージアプリを活用することで、指定の時刻になると自動で表示を切り替えることができます。

3. 校内の職員間の連絡

①Googleチャットの活用（北部小）

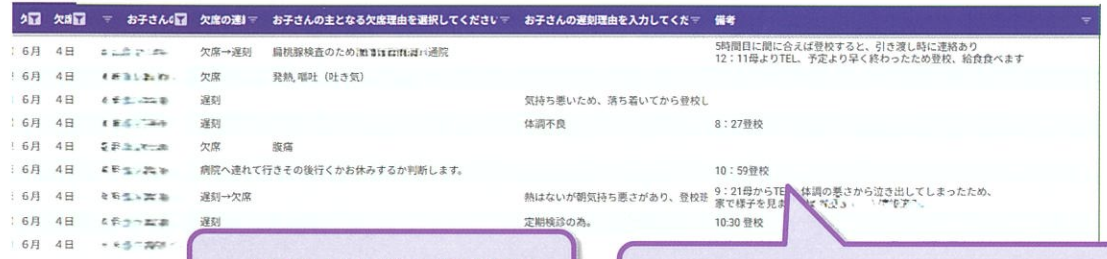


Googleチャットを使って職員同士のやり取りを行うことで、どこにいてもリアルタイムで情報を発信したり受け取ったりすることができます。

急な変更や遅刻早退の連絡、忘れ物が届いたなど、様々なことをリアルタイムで確認できます。また、既読したら「リアクション」をタップすることで発信した方も誰に情報が伝わったのかが分かります。



②GoogleFormsとスプレッドシートの活用（興譲小）



教室にしながら、遅刻予定だった児童が欠席に変更になるといった保護者からの連絡など、リアルタイムで確認できます。出席簿を整理する際にとでも役立ちます。熊出没の際、お迎えの有無などを職員全員で共有できたのも良かったです。

保護者から送信される欠席や遅刻等の連絡が反映するスプレッドシートに追記などをして、児童の様子を全職員で共有しています。例えば、遅刻予定の児童が登校したら、登校を確認した職員がスプレッドシートに登校時刻等を追記していきます。熊出没の際にも、保護者からのお迎えなどの連絡を共有するためにも同じスプレッドシートを活用しました。インフルエンザやコロナ罹患の児童は、別のシートに抽出できるようにしており、一覧として出席停止の児童を確認することができるようにもしています。

4. 児童のローマ字入力スキルアップ

①小学生向けのキーボード入力学習サイトの活用（愛宕小）



朝の時間に全校でタイピング練習をする日を設定しています。子どもたちは自分に合ったタイピングのサイトを選んで練習しています。その成果もあり、授業の振り返りなどでタブレットを活用することができています。



今回紹介した取り組みはごくごく一部です。この他にも、各学校で様々なICTを活用した取り組みを行っています。国も「ICTは個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に必要不可欠なツールであるとともに、教師の業務負担を軽減し、働き方改革を実現する上でも極めて大きな役割を果たさうもの」と位置付けています。お互いに実践を共有し、市内の学校が働きやすさと働きがいとを両立する職場になることは、結果として米沢の子どもたちへのよりよい教育の実現につながっていくと信じています。